

蘭齋畫譜

二

子 4
4304
2



梅部

夫梅ハ霜雪中ニ春陽ノ氣ヲ含ミ幽香馥郁トシテ實ニ
百花ノ魁タリ幹枝ノ屈曲花蕊ノ嫵媚一トシテ奇ナラザル
ハナシ然レトモ幹ヲ画クニ連環ノ法ヲ以テ枝條ヲツクル
ニ魚鱗ノ法ヲ以テスルトキハナラズト云フナシヤシクモ我門
ニ人コニ熟習スルトキハ凡木ノ枝幹ヲエカクモノ此法
ヲハナル、フナク魚鱗ノ法ヲ以テ渴筆ヲナストキハマタ山
石皴法ヲ画クフシル初学ノ人蘭竹菊ヲ学フノ功ヲツ
マザレハ寫梅ノ法ヲサトスフカタシ蓋四體ハ初学ノ人ヲ導

ノ法則ニシテシカモ天地ノ間生植ヲ寫スルノ基タリナシ
此用筆ヲ以一貫セザラシヨク心ヲヒツメテコレヲ察セヨ

蘭齋畫譜後篇卷二

梅部目錄

連環半環圖

魚鱗連環法
陰陽法

萌芽發出

連環半環魚鱗法

萌芽發出魚鱗法
小枝左右發生法

榦枝發出法

画榦法

画節法
画榦用筆法

老榦

枝花全備圖

画花頭陰陽法

天地陰陽背抱法
滿開

半開

画花藥法

画萼法

設色鈎勒法

含苞
小字点法
小字点背向五筆法

好音報春

素質先春

暗香浮動

瓊姿玉骨

飄二欲仙

踈影橫斜

春烟籠玉

喜占春魁

瓊英鬪白

新梢破玉

春禽轉花

芳信先春

月下瑤姬

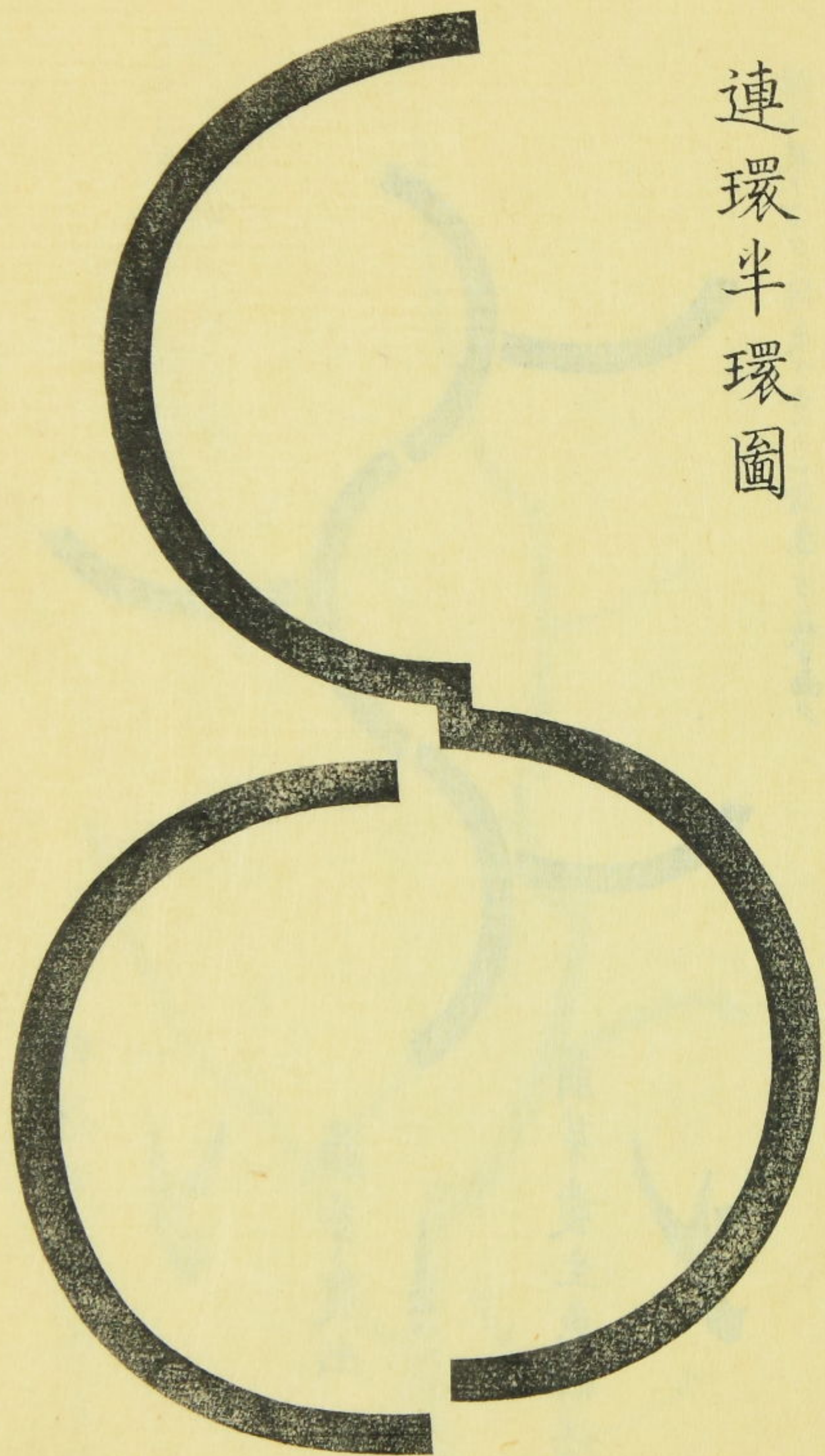
風搖玉珮

君子之交

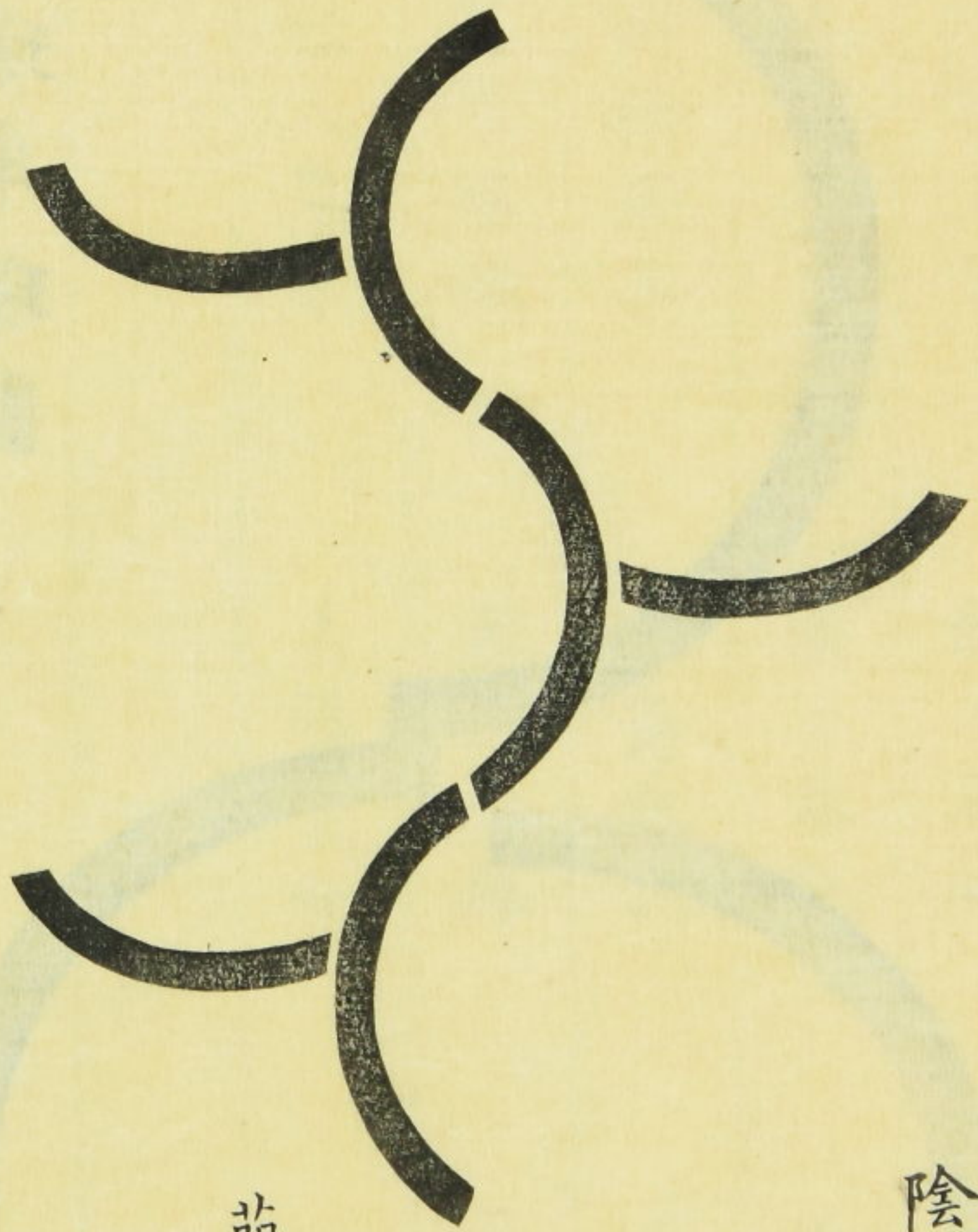
佳人鑒水

占得雙妍

連環半環圖



魚鱗連環法



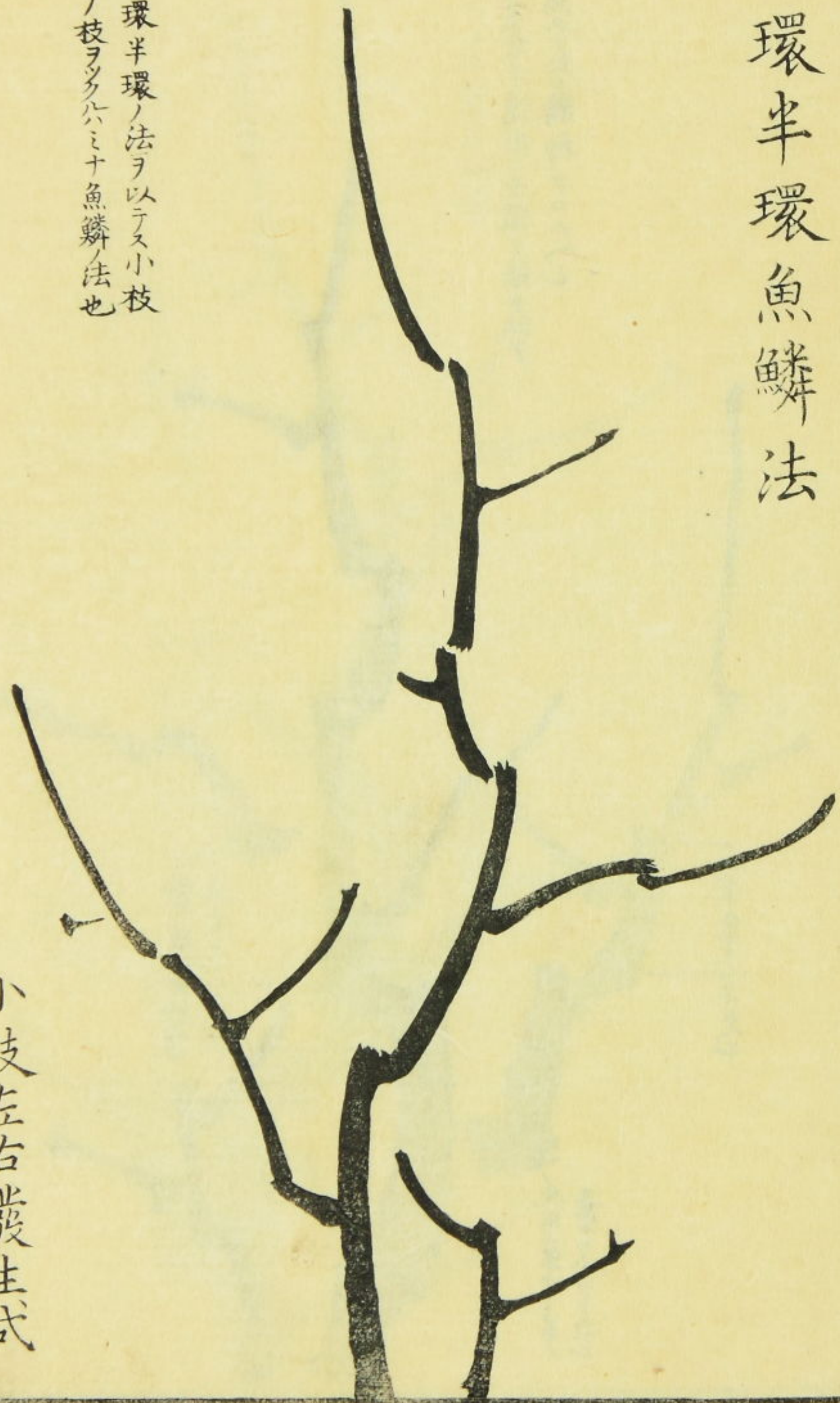
陰陽式

萌芽發出

萌芽發生魚鱗法

諸木枝アルカタニ陽氣ヲ含ムシ陰氣ノ方ニ枝ヲ画ク
トキハ必小枝ヲ画クヘシ大枝ヲ画クハ自然ノ法ニ達セリ
モシ陰氣ノ方ニ枝ヲ出ストキハ陽氣ノ所ニ天節ヲ画クヘシ

連環半環魚鱗法

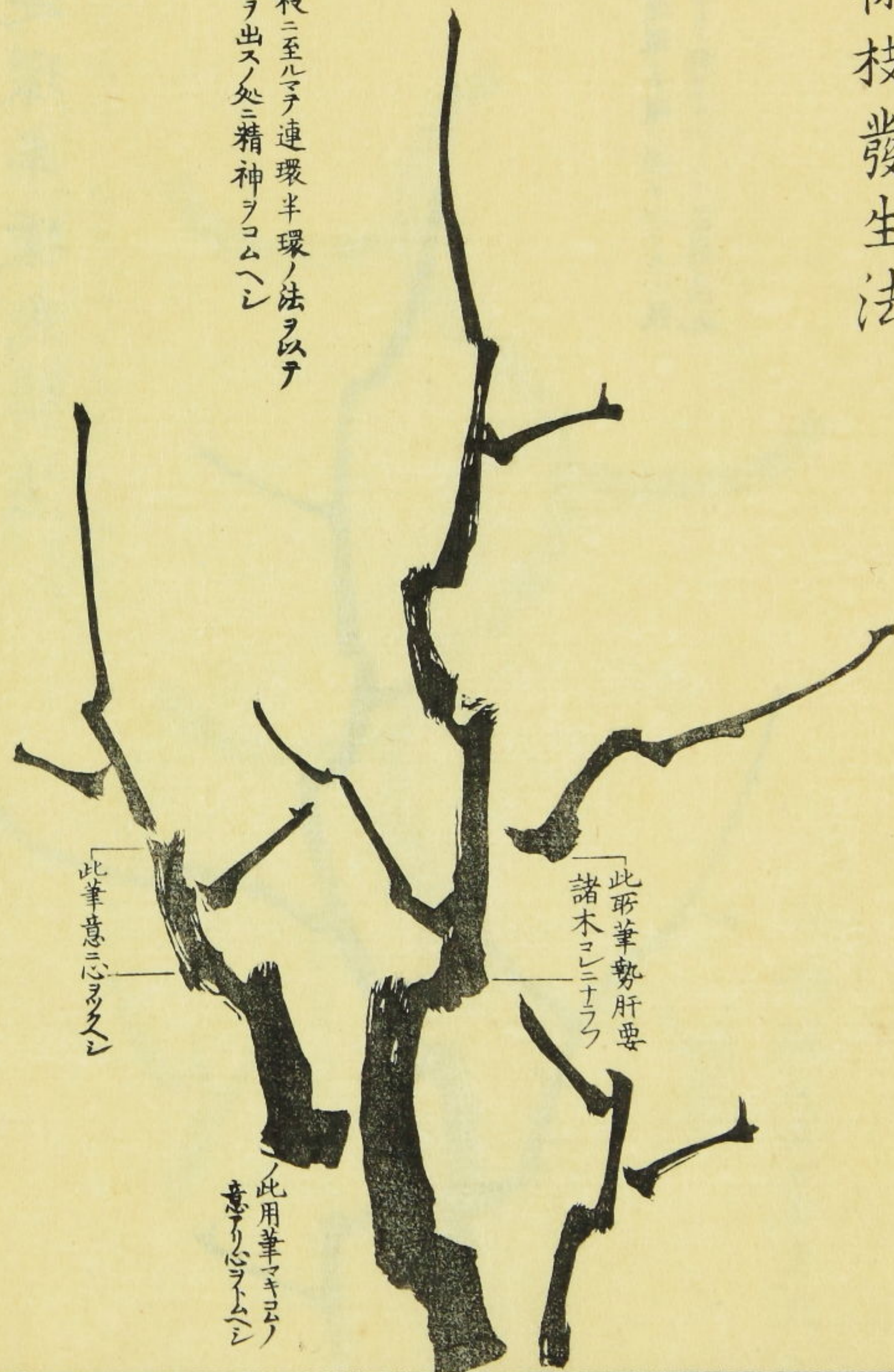


幹ハ連環半環ノ法ヲ以テス小枝
同法ナリ枝ヲ多クハミナ魚鱗ノ法也

小枝左右發生式

幹枝發生法

都テ小枝ニ至ルヲ連環半環ノ法ヲ以テ
スヘシ枝ヲ出スノ処ニ精神ヲコムヘシ



此取筆勢肝要
諸木コレニナラフ

此用筆マキコノ
意アリ心ヲトムヘシ

此筆意心ヲ久シ

如圖切タル取ハ上テ方ミテ
ツナグ諸木同法ナリ

大小ノ枝コトニ連環半環ノ
法ナリ万木同法ナリ



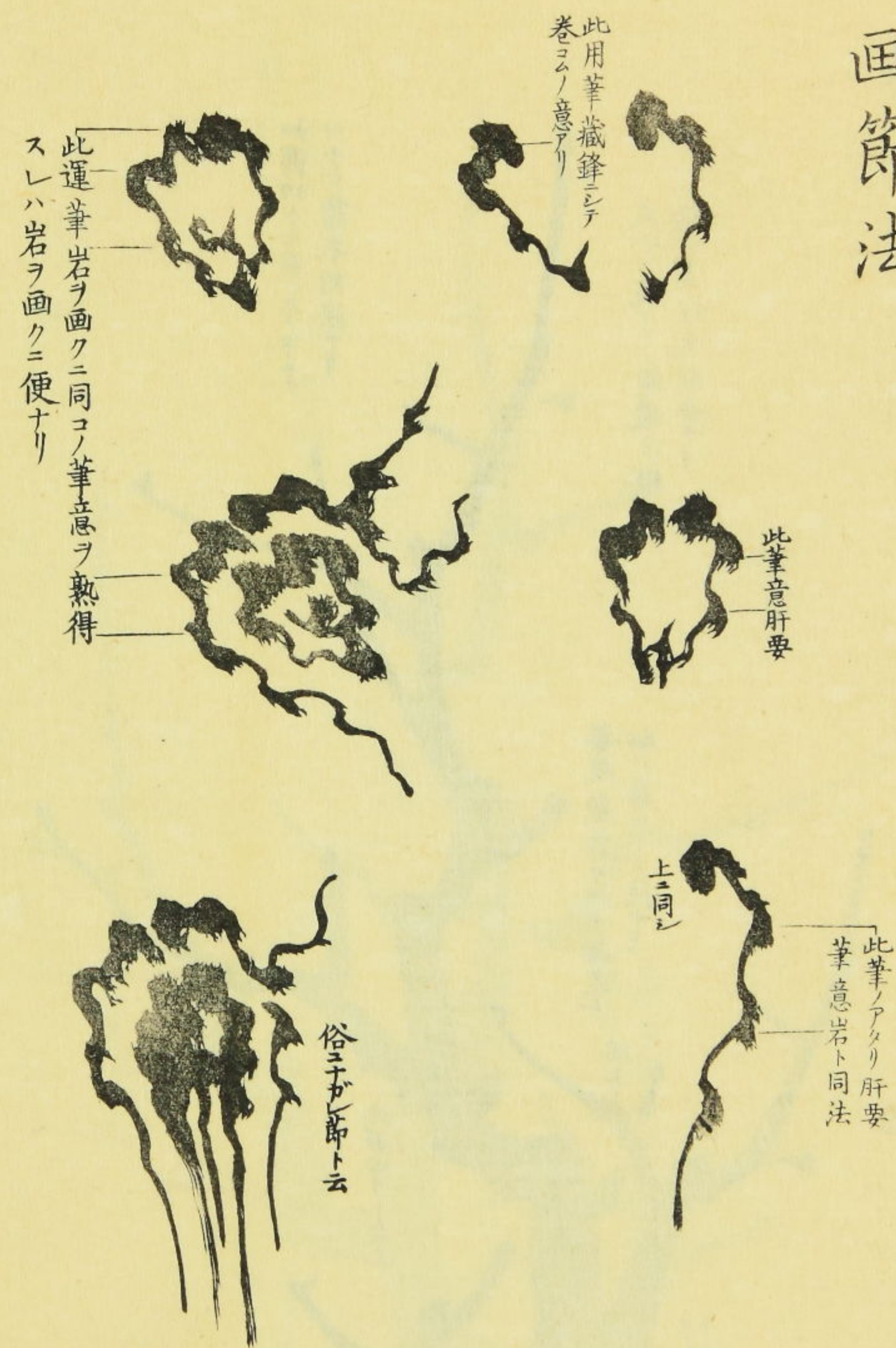
每枝藏鋒ヲ以テ画クニ
初ハ卷コミノ法ナリ

同上

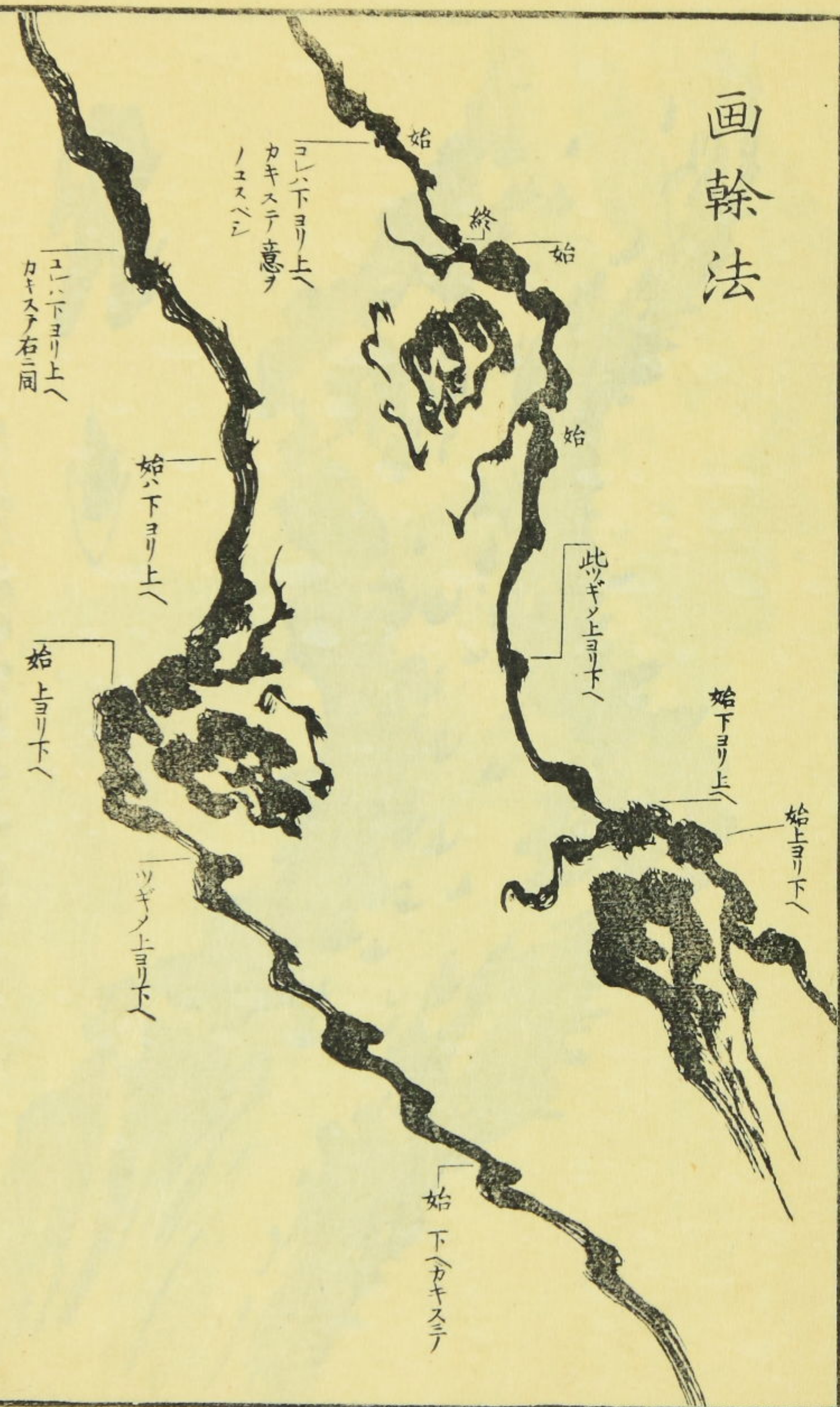
此取心ヲトムヘシ

コノトコロ心ヲ
トムヘシ

画節法



画幹法



幹ノ渴筆 岩ト同法ナリ 筆マキコミヨアリ 始コキ墨次ニ
中墨其次ウス墨ヲ以テ描ク 始終同法ダシカサ子
カケテ画クヘシ 猶圖ノ如シ 岩ト木ト画ノ肝要ナリ



真ノ画ニ至テハ 幹ノ輪廓
又渴筆ヨク考ヘシ



南嶺先生畫傳

梅部

七

老幹

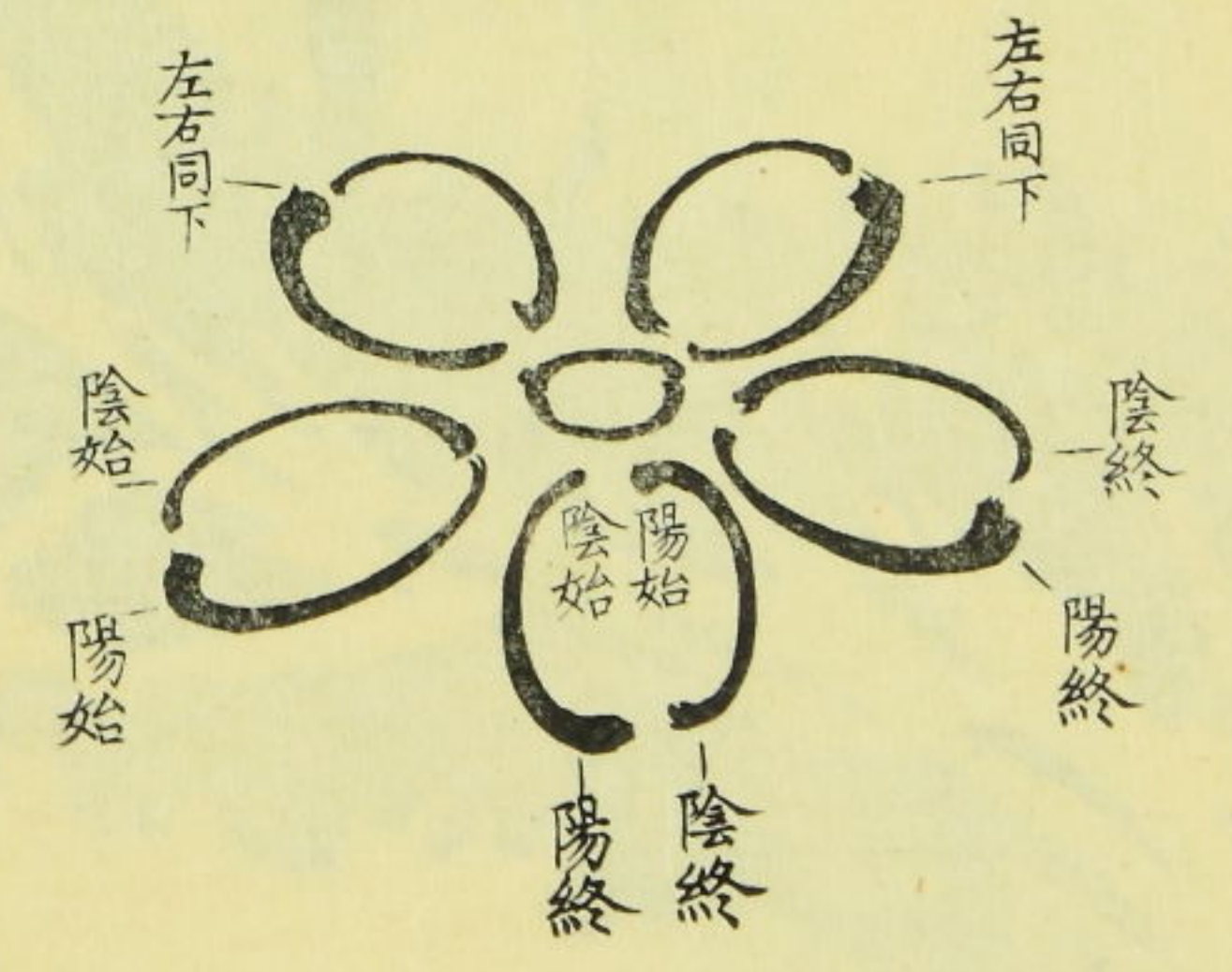
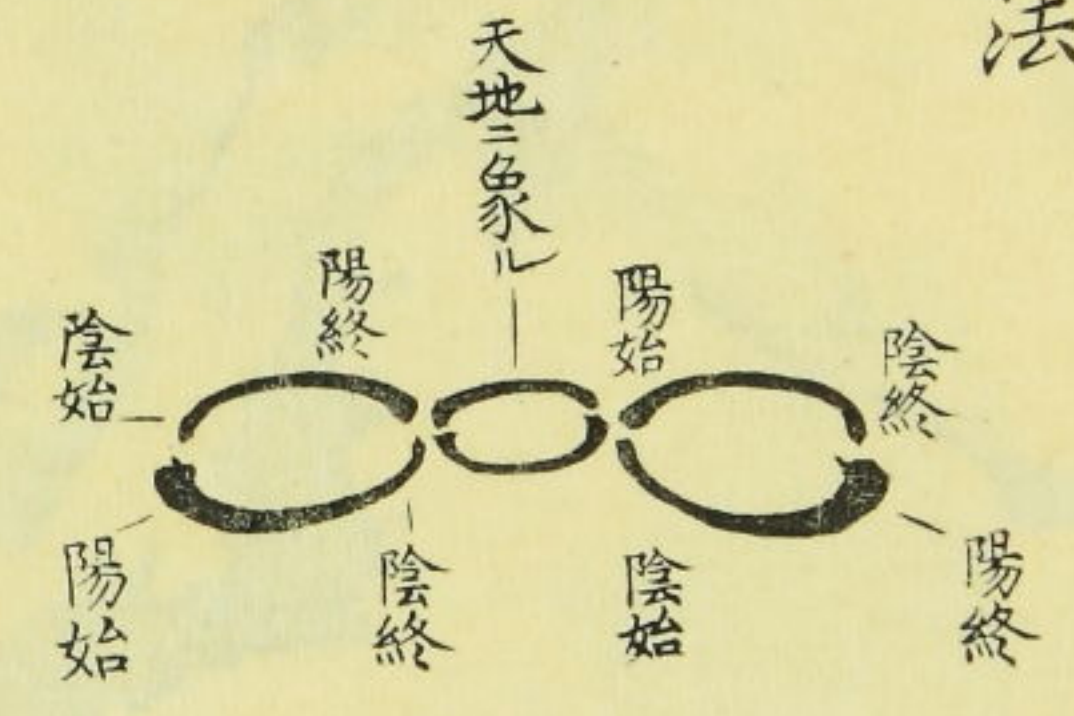
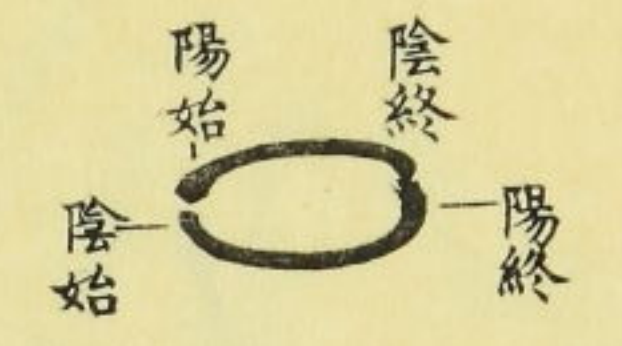


南嶺先生畫傳



画花頭陰陽法

天地陰陽背抱法



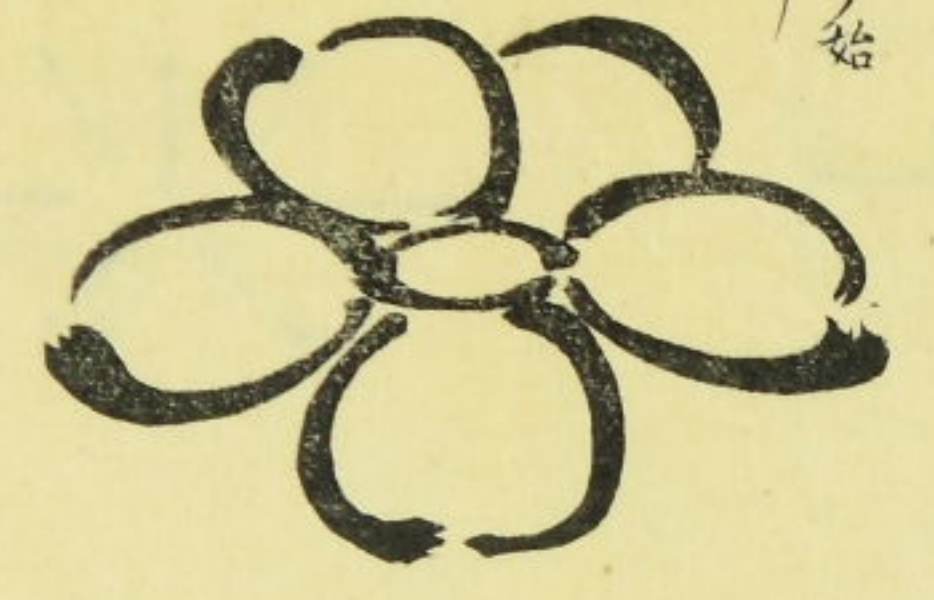
天地陰陽合發ノ形ナリ第一ノ華ハ天ニ象ル剛ニシテ陽ナリ
第二ノ華ハ地ニ象ル柔ニシテ陰ナリ其中ニ蕊ヲ發生ス
是實ナリコレヲ根主トシテ陽ナリ

満開

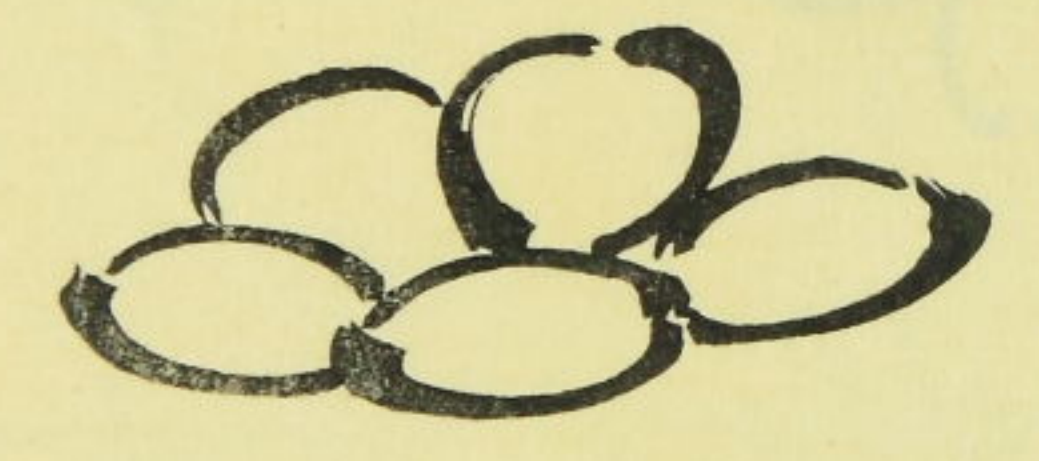
半開

含苞

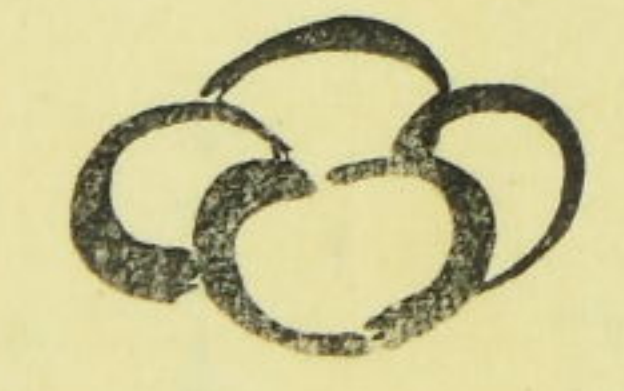
中陽ニシテ始
終陰ナリ



同上



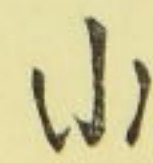
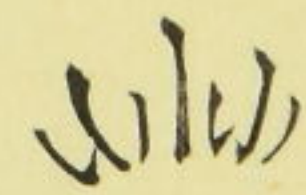
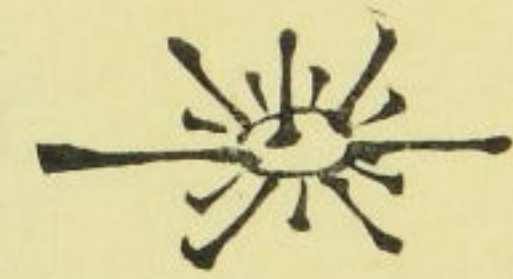
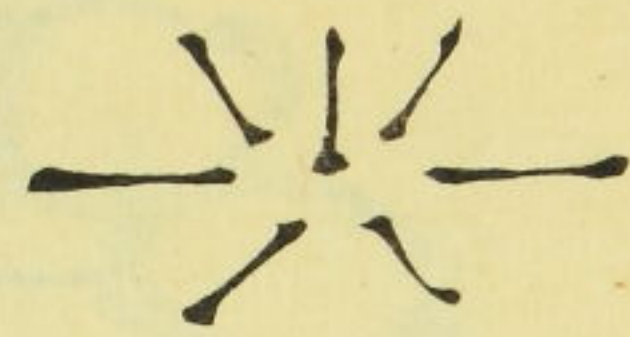
同上



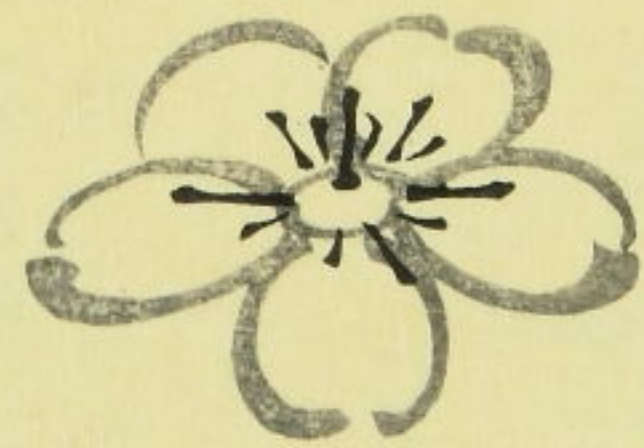
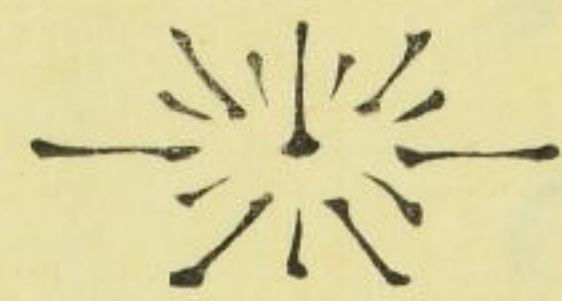
サ菊ト同法ナリ

画花蕊法

画法順筆左右三筆、其間ニ小字点
三筆、ハ子ヨム是ギヨリンナリ



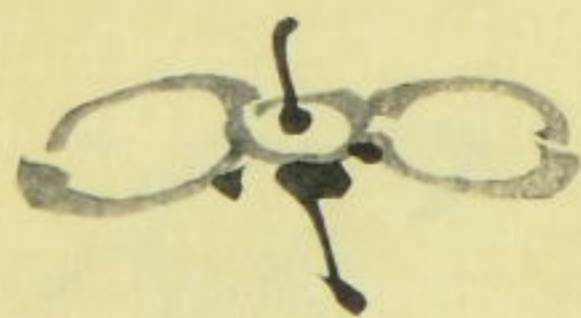
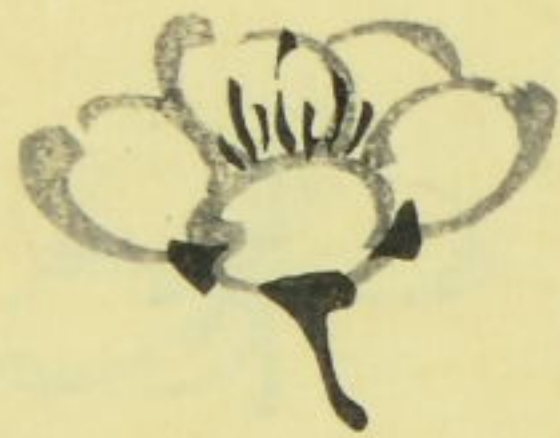
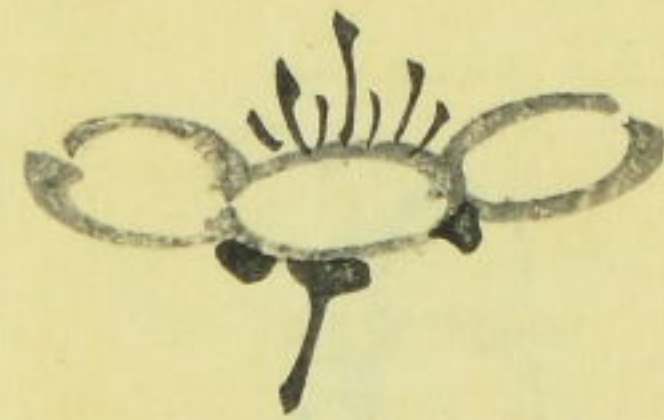
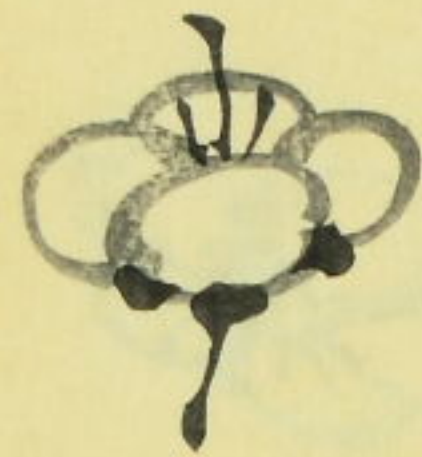
小字点



魚鱗ノ法ナリ

画萼法

コノ含萼小字点ノ左右
ヲハフヒテ中ノ一点ヲ用ユ



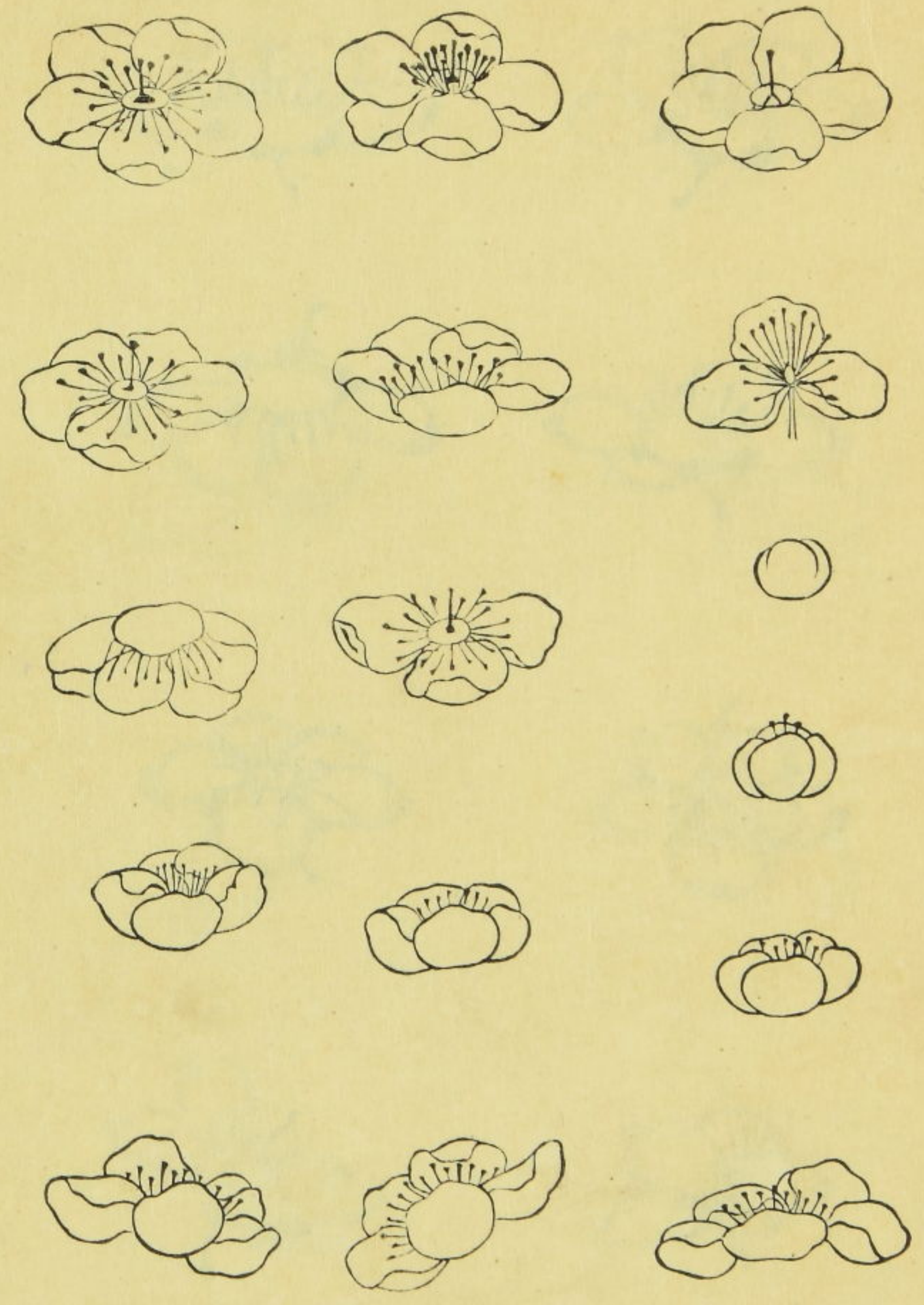
花蕊小字点萼
トモニ同法ナリ

半開ハ小字点ニ組其中ニホヒ
ツボミ小字点一組ニテ画クヘシ



小字点背向五筆法

設色鈎勒法



枝花全備圖

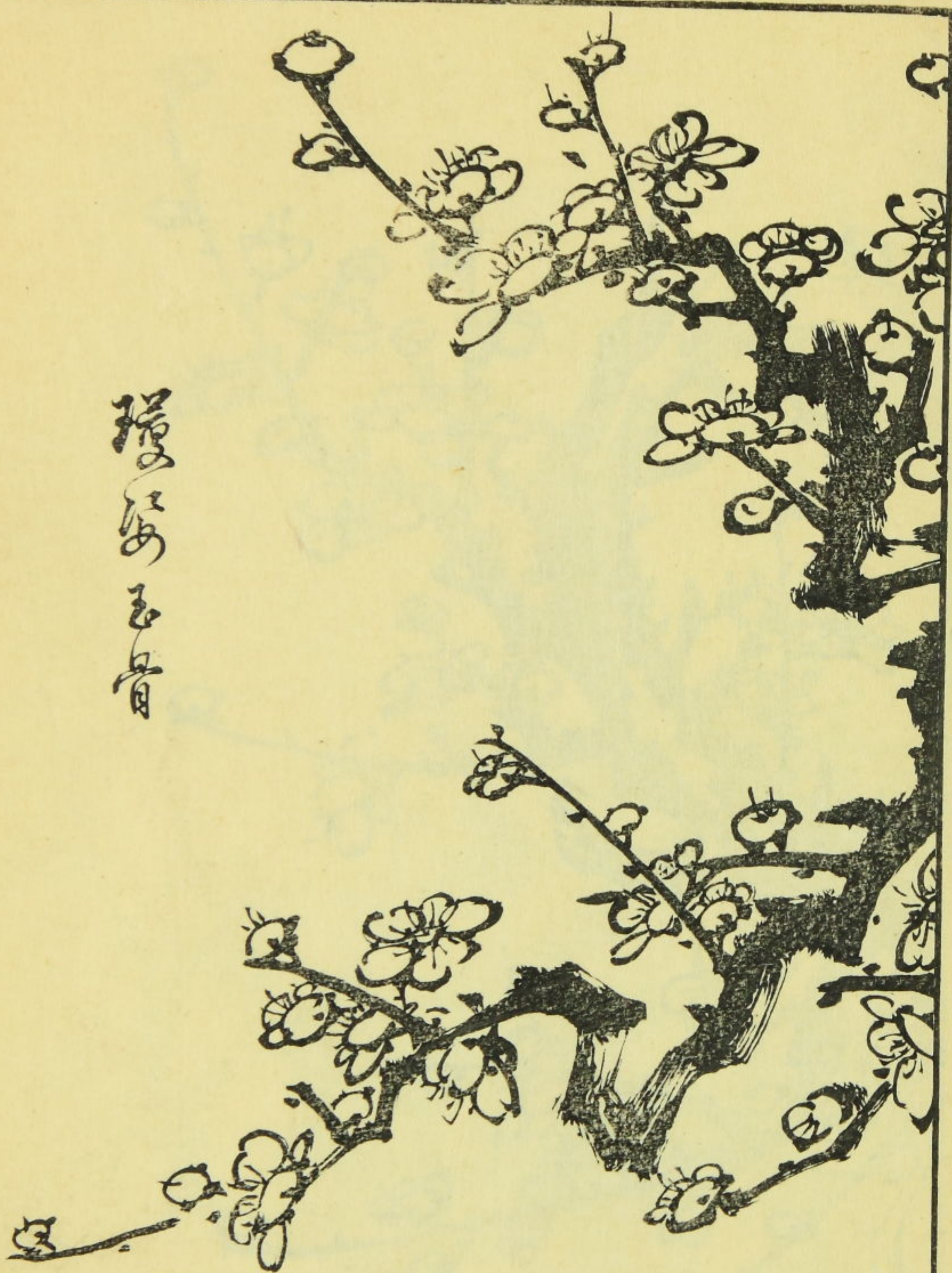




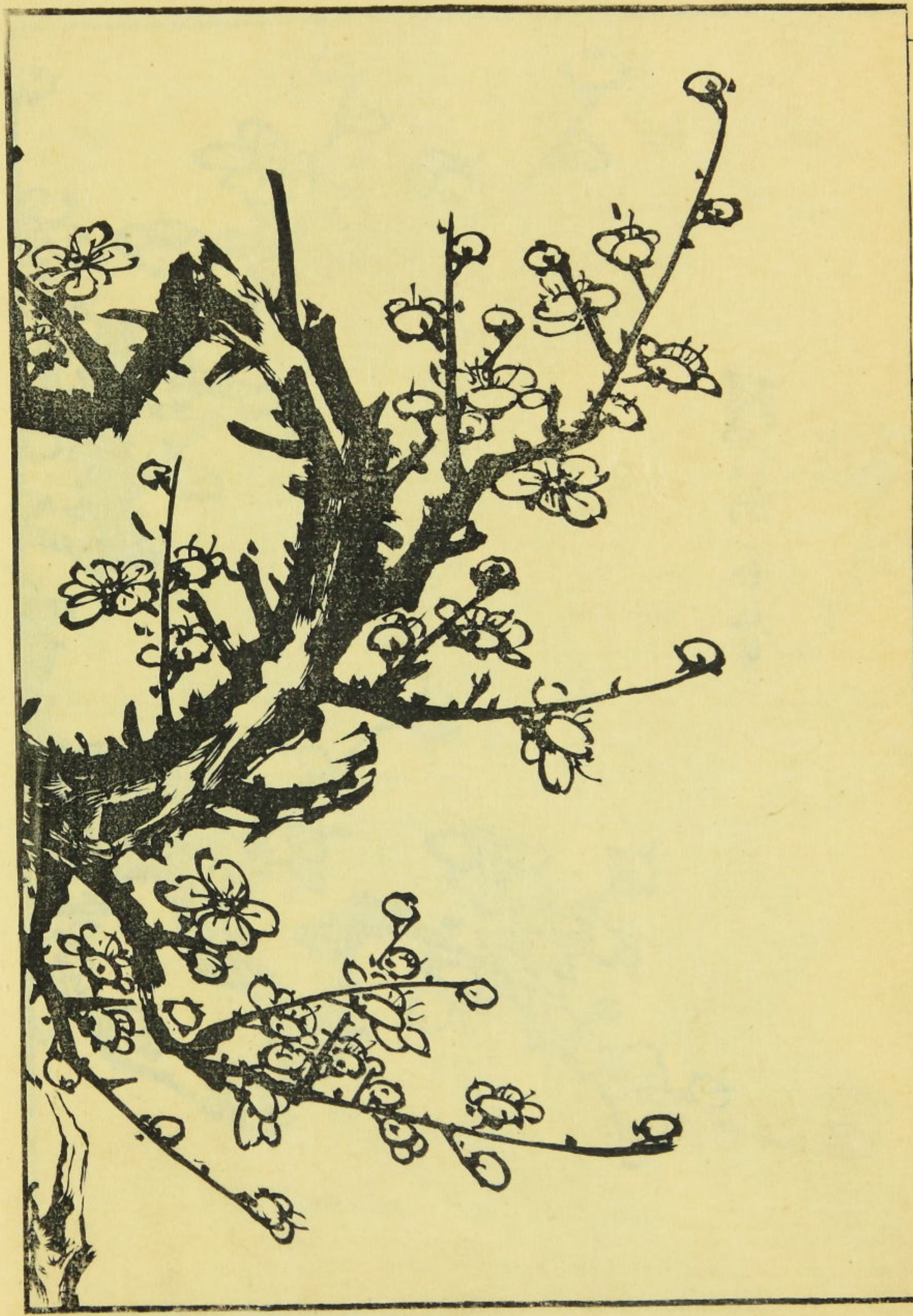
素質先春

暗香浮动





梅部玉骨



飛仙

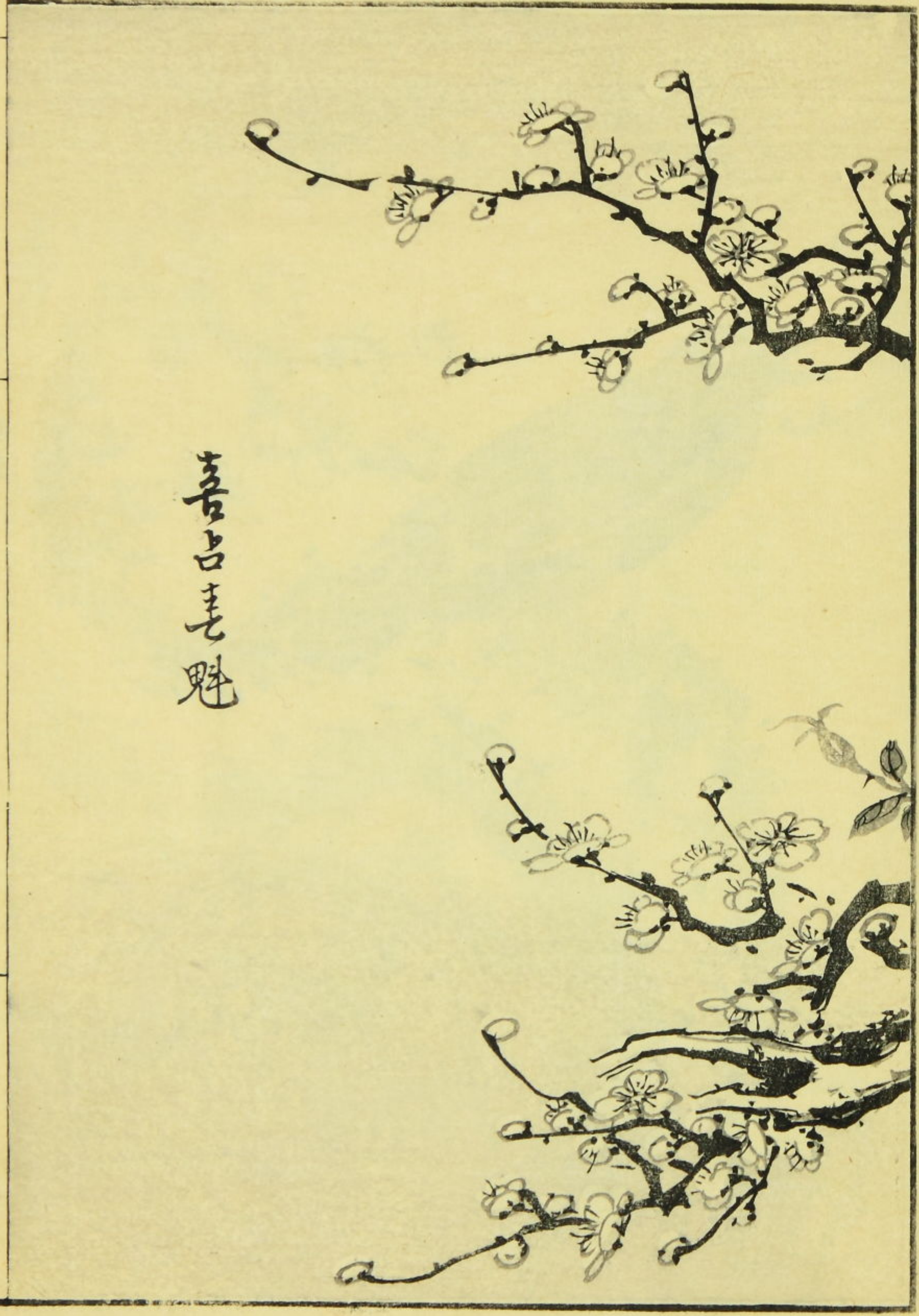


疎影橫斜



春烟籠玉





喜占毛魁



好音報春



瓊英鬬白



新梢破玉



春鳥啼花



月と梅姫

芳信先生傳





風搖玉佩

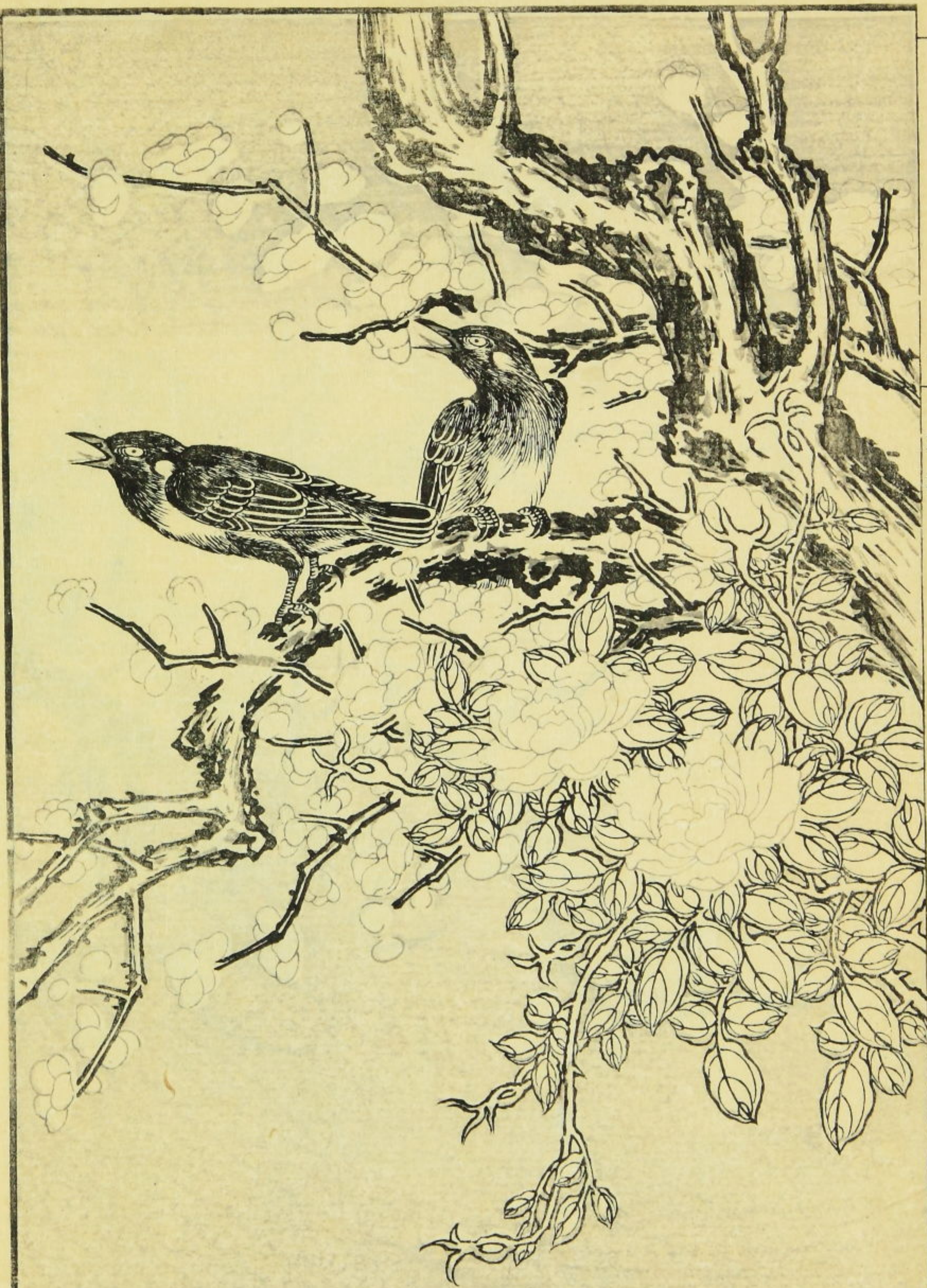


夫子之文



佳人臨水





占得雙妍



吾先師繡江先生南嶺沈先生ニ親炙^シテ此四體ノ法ヲ得タリ吾亦繡江先生ニ親炙^シテコレヲ傳フ實ニ初學ヲ導ノ法コレヨリ先ナルハナシモシコレヲ忽ニスル人ハタトヘ後ニ至リ画ヲヨクスルノキコヘアリトモ古人ニノツトラズシテ私意ニ出タルハ自ラ拙^{ツタナキ}ヲアラハスモノアリ嗟呼カナシマザラシヤ今此譜ノ首篇ニ四體ノ大意ヲアゲテ聊小子ニ便ス然レトモ口授^シ面諭^スニ非^ラズ何ヲ以テカ其精微^{セイビ}ヲシルコトヲ得シヤ吾沈氏ノ画法其初入^{ヤス}易カラサルニ倦^{ウム}蓋入易カラサルニ非^{アラ}ズコレ唯俗習ノ為ニ厄セラル、ニヨル然トモ數日ノ後易

ニツキ數月ニシテコレヲ為^{ナス}コトヲ樂ム年ヲ歷テ而後ニ
大成スルトキハ心手相應シ腕^{ワタリ}カツカル、一ナク筆ヲ下シテ
流水ノ如ク手ノ舞^{マユ}足ノ踏^{フム}ヲ知サルモノアリ是ニオイテ
先師ノ正法正傳愈^{イヘ}尊^{タツ}ク愈信アリ先師來學ヲ導ニ
先^イコノ四體ヲ以テ門戸トスルモノハヤ、故アリナシ此門ヲ得
ズシテ画ノ奥^{ウチ}室ヲ窺^{ウカ}フヲエニヤ

